

文連定期総会開催

新執行部学館解放へ向け

「戦闘宣言」で決意表明

去る十一月二十四日午後四時より、本校九一番教室において文化部連合会定期総会が六〇名の代議員と一〇〇名のオブザーバーの参加をもって開かれた。

総会は四十六年度委員長の間宮君の開会宣言、議長の出田純三各執行部員からの総括報告と連められていった。本総会においても執行部としての総括報告は行われず、各執行部員の責任において個人的に発言するという有様であった。これは四十六年度文連執行

部が総体としての運動方針を保持していなかった事の証左であろう。

執行部十五名中、出席したのは七名のみであったが、これは九名の執行部員が半年間同文連の活動を行わなかった為であった。総括報告では、「公約」であった事務体制の再建について報告がなされ、学館問題に対するサークルの取り組みが不十分であることが言

われた。次に会計部長より会計報告が行われ、四十七年度執行部の選出に移った。立候補者十一名は

そのほとんどが学館解放闘争に対する取り組みを主張していった。立候補者に対する不信任もなく、一括採決が行われ全議承認され、四十七年度執行部が成立した。

四十六年度執行部は、四十五年

度執行部の本部予算金使途のルールズ、各サークルへの学生会費配分事務の放棄を批判して成立していった。それは腐敗墮落した文連体制を再建する課題として一定程度の意義を持つとも、そのみに留り、最も本質的なサークル論、運動方針を提示しえず、サークル的存在を解体、止揚し得なかったと言えらる。これに対して新執行部はさらに進んで、学館解放闘争を基軸にサーク

ル運動の展開を目指している事に注目できる。早くもその姿勢を、戦闘宣言を大衆的に放つことになって表わしている。

文連新執行部

- 委員長・米田勇逸(政経三・教
- 研)▽副委員長・山中健史(商
- 三・社思研)▽同・山本昭彦
- (政経二・詩吟)▽会計部長・
- 九野里芳昭(政経三・YMCA)
- ▽事務局長・迎修(文三・文
- 研)▽企画部長・山本隆男(営
- 三・雄弁)▽情報部長・水野勝
- 美(政政二・教研)▽渉外部長
- ・星野鋼二(政経三・YMCA)
- ▽厚生部長・藤松佳高(文二・
- 仏文研)